

左岸斜面



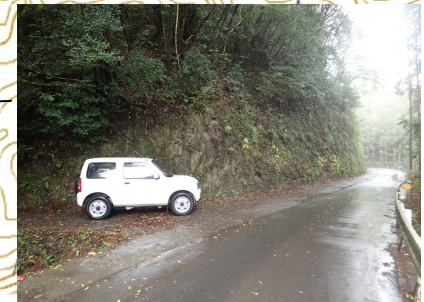
- ・調査対象地の谷地形であり、谷幅は約15～20m程度と狭く、兩岸の斜面が急であるV字形の谷地形であった
- ・調査対象地内に谷川が確認され、その幅は約1m程度であり、水量は少ない
- ・中流部では、谷底にぬかるみが見られた

## <既存道路、建物等の状況>



- ・国道195号から調査対象地までは、県立香北青少年の家に面する道路(市有地)を經由し、林業用作業道からの進入となる
- ・国道195号から調査対象地までの既存道路区間には、道路に面して、住家が3軒、県立香北青少年の家及び香美市香北体育センター、田畑が確認された
- ・林業用作業道は、幅員狭小(約3.0~3.5m程度)、線形不良、さらに道路の勾配も急で起伏のある未舗装道路であり、倒木や落石も見られた

# < 県立香北青少年の家等への影響 >



- ・調査対象地への進入は、唯一の進入道路が県立香北青少年の家に面し、そこを經由して、林業用作業道を通行する経路(緑色の線)が想定  
→施設整備の際の工事車両、施設整備後の廃棄物運搬車両による騒音・振動等の影響があると思われる
- ・調査対象地と県立香北青少年の家は、山の尾根で分断されていることから、施設からの直接の影響はないと考えられる



- ・調査対象地は谷地形であり、谷幅は約17~25m程度、谷の斜面は緩やかであった
- ・調査対象地内に谷川が確認され、下流部において、石積みによる護岸が整備した箇所が見られ、水量も多い
- ・上流には、表層崩壊跡である可能性がある勾配の緩い斜面が見られた

# <既存道路、建物等の状況>

倒木、落石が多く見られた



異常気象時通行規制区間  
(区間は、これより奥)

県道は、集落を通過



林道の状況



土砂崩れ

- ・国道32号から調査対象地までは、県道を経由して、林道からの進入となる
- ・県道は集落(休所中の保育所あり)を通行する。また、異常気象時の通行規制区間があり、豪雨時(連続雨量200mm又は時間雨量50mm以上の時)は全面通行止となる
- ・林道は幅員狭小(約3.0~3.5m程度)で線形不良、未舗装であり、倒木や落石が多く見られた
- ・林道区間の標高の最高地点は約500m程度であった



- ・調査対象地は谷地形であり、中流部の谷底の幅は非常に広く(約30~50m程度)、複数の谷が流入している
- ・調査対象地内に谷川が確認され。その谷川には、水はあるものの流れていない(淀んでいた)状態であり、水量は少ない
- ・下流部の左岸に岩塊(直径15m程度)が確認された

<既存道路、建物等の状況>

幅員狭小、線形不良、縦断勾配が急である



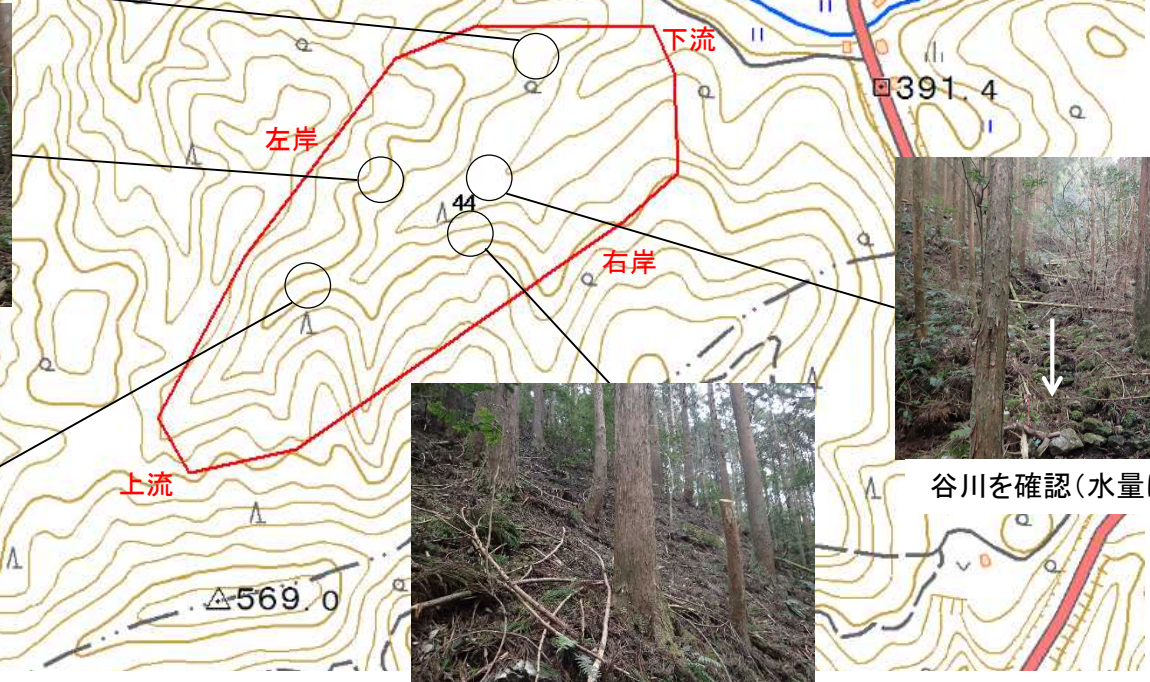
- ・国道32号から、調査対象地までは市道を経由して、林業用作業道からの進入となる
- ・市道に面して、休校中の小・中学校、発電所、住家(2軒)、倉庫等(2軒)が確認された
- ・林業用作業道は幅員狭小(約3.0~3.5m程度)、線形不良、未舗装であり、さらに道路の勾配は急で一気に斜面(山)を上る道路であった
- ・林業用作業道区間の標高の最高地点は約500m程度であった

斜面や谷川に転石、岩塊が見られた

しいたけ栽培



左岸の斜面



谷川を確認(水量は少ない)



谷底の状況



右岸の斜面

- ・調査対象地は谷地形であり、谷底の幅は約30～45m程度と広い
- ・調査対象地内に谷川が確認され、その水量は少ない
- ・左岸側の斜面や谷川には、転石や岩塊が見られた
- ・表層崩壊跡である可能性がある勾配の緩い斜面が、中流部の左岸斜面に見られた
- ・下流には、「しいたけ」の栽培地が確認された